

# 守ろう、支えよう、大好きな故郷

## はじめに

西尾市は、平成26年5月に愛知県が公表した南海トラフ地震の被害予測調査結果において、長い海岸線と軟弱な地盤を抱えていることなどから、県内で最も深刻な被害が予測されています。特に津波被害が危惧されており、本市では平成30年3月に「津波浸水避難シミュレーション（現在：津波避難計画）」を作成し、市民の皆様には、津波発生の際は津波浸水想定区域外へ避難することを推奨してきました。

そのような中、平成30年度より愛知県教育委員会から本事業の委託を受け、学校安全に向けた取り組みを進めてきました。これまでモデル地域として、広い範囲で津波被害が危惧されている「一色地区（平成30年度）」「吉良地区（令和元年度）」「寺津地区（令和2年度）」を、令和3年度は、地震による被害とともに、風水害において甚大な被害が想定されている「東部地区」を設定しました。令和4年度は、津波浸水想定区域に位置し、さらに地震津波における指定避難所になっている学校を含む「福地地区」をモデル地域とし、命を守るための防災活動を進めてきました。



## 事業の名称

昨今、全国各地で災害が発生しており、これまで以上に防災に対する意識強化を図るとともに、学校安全に係る取り組みをさらに進めていくことは重要課題となっています。一方で、災害に対して過剰になりすぎること、子どもたちの故郷に対する愛着が薄れてしまうことにも繋がりがかねません。中には、この先何十年と地元で生活し、地元で活躍する子どもも多くいるはずで。そこで、「防災」に関する学習を通して、有事の際は故郷を守り、支えていける防災リーダーとして活躍できる人材となしてほしいという願いを含め、本事業の名称を「**守ろう、支えよう、大好きな故郷（ふるさと）**」としました。

## 事業の主な目標

- ・児童生徒が地震、津波に対する正しい知識を身に付けるとともに、災害発生時には**防災リーダーとして積極的に活動できる**ことをめざす。
- ・児童生徒が取り組んだ成果等を自ら外部に発信していくことで、**学校間、地域間の防災に対する意識の差の解消**をめざす。

## モデル地区及び拠点校の設定

▶モデル地区／福地地区（中学校1校・小学校2校） ▶拠点校／福地中学校

令和3年3月に発行された「西尾市津波ハザードマップ」によると、市内の3分の1が浸水する想定となっており、全人口約17万人のうち約7万人が避難する想定となっています。現在、市内の学校の多くは、児童生徒が在校中であれば高層階へ垂直避難することになっています。しかし、学校にいない場合であれば、原則として津波浸水想定区域外へ避難することになっています。それらを踏まえ、幅広い知識や、避難方法の習得、避難所開設などについて理解する必要がある福地地区をモデル地域に設定し、事業を進めることにしました。また、自らの命を守ること（自助）はもちろん、「守られる側から守る側へ」という意識を育てること（共助）が大切であると考え、防災リーダー育成の観点から福地中学校を拠点校とし、福地中学校の1年生を中心に防災活動を進めていきました。



## 実践委員会の設置

年3回の実践委員会（学校関係者、地域団体、行政で組織）を通して、より効果的な活動方法などについて意見交換をしたり、避難訓練など防災に関わる取り組みにおける各校の課題などを共有したりすることができました。

### ●防災教育アドバイザー

近藤ひろ子氏（JICA防災教育担当専門家）、福地地区自主防災会連絡協議会会長、福地中学校PTA会長、西尾警察署、西尾市消防本部、福地中学校長及びモデル地域3校教員、県教育委員会、市教育委員会、危機管理課



実践委員会の様子



## モデル地域3校での「防災講話」

小中学生に、自然災害の恐ろしさ、西尾市や各校区における被害想定、小中学生が発災時に自宅や学校などでできること、西尾市の災害に対する備えなどについて紹介するため、危機管理課職員による防災講話を実施しました。

動画や写真、資料などを使い説明するなかで『いざという時に『やっておけばよかった』ではなく『やっておいてよかった』と実感できるような防災学習を進めてほしい』『思うだけ・考えるだけではなく、実際に備えたり、話し合ったりするなど自分事として行動にうつしてほしい』などに対して真剣に耳をかたむけ、大きくうなずく姿を見ることができました。

### 児童生徒の感想

- ・地震のことを聞き、他人事ではなく、自分の事として考えないといけないと思いました。どんなときでも自分で物事を判断して動けるようにしたいです。「やれば良かったではなく、やっておいて良かった」と思えるようにしたいです。
- ・今、家では非常食、飲料はあるけど家具の固定ができてないので、家族と話し合い、備えたいと思いました。そしてもう一度、避難



## モデル地域3校での「近藤ひろ子防災教育アドバイザー防災講話」

地震・津波や風水害などの災害に関する正しい知識を身につけるため、近藤ひろ子防災教育アドバイザーによる防災講話を実施しました。防災とは「命を守る」だけではなく、「みんなと一緒に生き延びていく」であることご示唆いただきました。また、自然災害に対する対処方法や必要な備えについて、覚えやすい合言葉や「い・つ・も」「お・か・に」ソングで紹介していただいたり、キャスター付きのトランクを使うと便利など様々なアイデアも紹介していただいたりしました。最後に助け合える関係をつくるためには常日頃から「笑顔であいさつすること」が大切であることを教えていただき、「中学生は地域の大きな力！」と熱いメッセージを送っていただきました。

### 児童生徒の感想

- ・「自分の命を守る行動も大切だけど、みんなといっしょに生き延びていくことが大切」と言っていたので、自分の事を考えつつもみんなに災害について伝えていって、みんなで災害について考えていきたいです。
- ・地震は身の守り方を知っていれば生きる確率が上がるとわかりました。隠れるものがないとき、頭と首の後ろを守り、膝をついて小さく座ることを忘れないようにしたいです。あと「い・つ・も」「お・か・に」ソングの命を守る合言葉が心に



## 福地中1年生「災害クッキング講座」

名古屋文化短期大学フードビジネス専攻の山田実加教授をお招きし「防災を楽しむこと」をテーマに、災害時の食に特化した講座を行い、防災意識の向上を図ることを目的に実施しました。災害時に活用できる調理方法であるバック・クッキング法（ポリ袋とカセットコンロを使用）に取り組みました。「災害時に温かいものを食べることができれば体も心もなごみます。また、洗い物も少なく、簡単に調理ができるので、日常にも取り入れてみましょう」とご指導いただきました。

### 生徒の感想

- ・実際に作ってみると、とても簡単に誰でもでき、温かくおいしい料理を作ることができました。
- ・ローリングストックは簡単にできる備え方だと思いました。
- ・今回の話を聞いて一番驚いたことは大地震に備えて準備をしている人が45.7%で少ないなと思いました。少しでも準備をしておけば助かるかもしれないので自分もしっかり準備しな



- ・いとおめだなと思いました。
- ・「災害食」といえば「乾パン」などが頭に浮かびましたが、それは非常食であって全く別物だと知りました。災害時にも料理をするために必要なポリ袋、カセットコンロ、ガスボンベなどを用意しておきたいと思いました。

## 福地中1年生「HUG学習（避難所運営ゲーム）」

様々な事情を抱えた避難者を適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験しました。避難してきた方々の状況を考慮し、より過ごしやすい避難所作りをめざして実践することができました。避難所運営について考えるきっかけ作りとなりました。

### 生徒の感想

- ・避難者には車いすの人や旅行者、病気の人もいます。でもそのような理由があるからと言って不平等に扱ったりするのはよくないので、その人が最低限の生活ができるように配置を考えていきたいです。
- ・避難所運営ゲームを通して、いろいろな事情を持った避難者の配置や配慮する点を考えないといけないことがわかりました。自分



- ・運営する立場になったら、一人一人に寄り添って避難所が運営できるようになりたいと思いました。
- ・避難者の条件ごとに部屋を分けるときに、その決めた部屋にどんな人を入れるか書いておけばよかったなと思いました。探すのに少し時間がかかってしまったのでメモしておけばよかったなと思いました。

## モデル地域 小中合同防災学習

中学生が「防災講座」で学んだ「救出救護技術」と「避難所簡易グッズ作り」を小学生に教えました。中学生が講師となって小学生と主体的に関わり合いながら伝えることで防災リーダーとしての意識の向上をめざしました。また、同じ地域に住む児童と生徒と一緒に下校することで通学路の安全確認をし、同じ地域で生活するもの同士が発災時に協力して救助活動に取り組めるような関係作りに取り組みました。

### 児童生徒の感想

- ・防災に関しては、知識だけではなく、その危機にいざなったとき、どう行動するのかを考えなくてはならないということを感じました。
- ・新聞紙や広告でスリッパやコップが作れることがわかったので地震などの災害が起きても作れるように新聞紙を防災バッグに入れておくとう便利だなと思いました。
- ・相手に教えるのは、簡単な言葉で表情や反応から理解しているかというのを読み取りながら説明する必要があっても難しいなと思いました。でも教えたことで自分自身もより深く搬送法などの手順を覚えることができました。いざというとき、周りの方の役に立てよう忘れないようにしたいです。
- ・防災学習というものは学ぶことも大切だけど、それを伝え広めることも大切です。いざというとき動ける人が多いと頼りになるのでしっかりと伝えることができて良かったです。





## 福地中 1 年生「防災講座」

### 【救出救護技術講座】

西尾市消防本部署員と地元校区の消防団員を講師としてお招きし「救出救護技術講座」を行いました。災害発生時に、一人でも多くの方の命を守るために救出救護の技術として「簡易担架による搬送法」「三角巾による止血法・固定」「ロープ結索」を学びました。

### 【避難所簡易グッズ作り講座】

近藤ひろ子防災教育アドバイザーを講師としてお招きし「避難所簡易グッズ作り講座」を行いました。避難所などでより快適に過ごせるようにするために身近にあるものとして広告と新聞紙を工夫して活用し、食器とスリッパの作り方を学びました。また、ビニール袋をかぶせて使うことで繰り返し使用でき、貴重な水を使わなくて済むことも教えていただきました。

### 生徒の感想

- ・三角巾を使用した応急措置で添え木の代わりに新聞紙を使うことができることは知りませんでした。また、三角巾の代わりに風呂敷やラップ、ネクタイなどでも代用でき、「身近なもので」ということを意識できるようになりました。
- ・ロープ結索では、2つの結び方を教えていただき、2つともすごく簡単で強度が強いので避難所などで洗濯物を干したりするときにすごく役立つと思いました。
- ・新聞紙で作ったスリッパは簡単ですぐ作れました。しかも、災害の時は物が落ちてきたり、割れてたりとそのまま歩くとけがをしてしまうのでスリッパの作り方を覚えておくともしも災害が起きた時に役に立つと思いました。



搬送法講座



広告食器作り



止血法・固定講座



広告食器作り



ロープ結索講座



新聞紙スリッパ作り

- ・コップは袋を変えれば何回も使えるようになり、コップを大きくしたり小さくしたりできるので使いやすく簡単で作りやすいので作り方を覚えたいです。1枚の紙でこんなに便利なものが作れるなんて知らなかったです。
- ・担架を布（毛布）と棒で作る方法を教えてもらいました。毛布がないときは代わりに衣服で、棒も物干しざおでいいと聞いて、身近にあるし、簡単だから災害時にはもってこいだなと思いました。

## 福地中全校生徒「西尾市総合防災訓練」

「17万人市民まるごと防災訓練」の実動訓練として西尾市総合防災訓練を福地中学校で実施しました。地震・津波避難訓練、ドローンによる情報収集訓練、ヘリコプターによる救出救助訓練、物資輸送訓練、避難所運営訓練などを行いました。生徒は耐震性貯水槽取扱い訓練や簡易トイレ組立等訓練、AED・三角巾訓練、災害時高齢者・身障者体験を行い、炊き出し訓練の手伝い等も行いました。様々な体験を通して、防災への意識を高めることができました。また、この訓練には地元福地南部小校区自主防災連絡協議会の皆様にも参加していただきました。



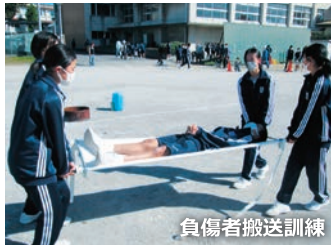
孤立した倒壊家屋からの救出訓練



消火器による消火訓練



炊き出し（豚汁）



負傷者搬送訓練

### 生徒の感想

- ・今回の防災訓練で、知らなかったことを見たり体験したりして知ることができました。やらないとわからないことはたくさんあると思うのでいざというときに体験したことを出せるようにしたいです。
- ・けが人が多いときには、心肺停止の状態の人よりも助かる可能性の高い人を助けるという判断も大切だという話がありました。できれば全員助かったらいいけど、そういう決断も必要だと知りました。
- ・障がい者訓練では、全身に重りをつけて、耳あて、一部しか見えないゴーグルをつけて歩きました。今までどんな風に見

えているのか聞こえているのかわからなかったけどやってみると歩くどころか椅子から立つことだけでも大変で、歩くときはどっちに行けばいいのかもわからなくてすごく大変でした。

・総合防災訓練を終えて、改めて防災への意識を高めることができました。いろいろな体験をすることができてよかったです。いつ起こるかわからない災害だからこそ、日頃から地域の方との交流や備えをすることで少しでも安心できると思います。災害時には自分だけでなく他の人も助けられるよう、今日の訓練を活かしたいです。

## 福地南部小 4 年生「名古屋市港防災センター・地区防災倉庫見学」

防災についての学習をさらに深めるため、名古屋市港防災センターと地元の福地防災倉庫へ見学に行きました。名古屋市港防災センターでは、「伊勢湾台風体験」「地震体験」「煙避難体験」などの防災体験学習と、近藤ひろ子防災教育アドバイザーによる講義を受けました。児童たちは、近藤先生のお話や様々な体験を通して、一層防災への意識を高めることができました。また、福地防災倉庫では、ふれあいセンターの職員の方のお話を聞き、防災倉庫の中を見せていただきました。児童たちは自分の暮らしと防災を結び付けて考えることができました。



近藤アドバイザーによる講義

地震体験

福地防災倉庫見学

### 児童の感想

- ・家族に今日体験したこと、教えてもらったことをきちんと伝えたいと思います。
- ・本当に地震はいつ起こるかわからないし怖いので、普段の生活に

- ・防災の用意をしておきたいです。
- ・初めて行くお店で辺りを見渡して非常口を見つけることが大切だと近藤先生に教えていただき、これからやっていきたいです。

## 福地南部小 4 年生「学習発表会『防災ってなんだろう！』」

4年生が「防災ってなんだろう？」というテーマで学んだ「災害の怖さ」「防災リュック」「防災倉庫・防災資機材庫」「名古屋市港防災センターの紹介」「これから学ぶこと」などについて、より分かりやすく伝えるためにスライドを使用し、自分たちで考えたクイズを交えて発表することができました。また最後には、近藤ひろ子防災教育アドバイザーに紹介していただいた「い・つ・も」「お・か・に」ソングを4年生全員で手話を交えて披露することができました。本事業を通して、地震や津波から自分や周りの人の命を守るために、自分たちにできることを伝えることができました。



### 児童の感想

- ・4年生では「防災ってなんだろう！」をテーマにして、「お客さん、全校のみんなに防災を伝えたい」で発表しました。一人一人が「伝えたい」を意識してできました。

- ・僕が学習発表会で思ったことは、みんなが一生懸命に防災を伝えたい気持ちがあふれていました。学習発表会のことを今後、低学年や地域の人に伝えたいです。

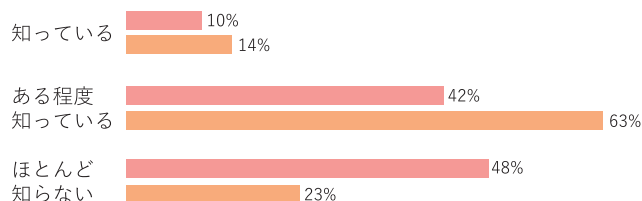


## モデル地域3校での防災アンケート

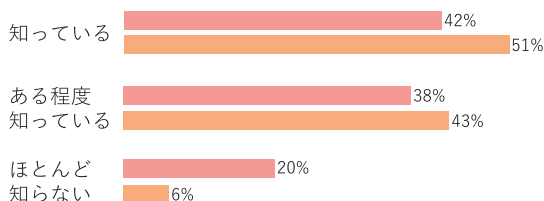
### 事業前後に実施した防災アンケート結果を比較

実施前 実施後

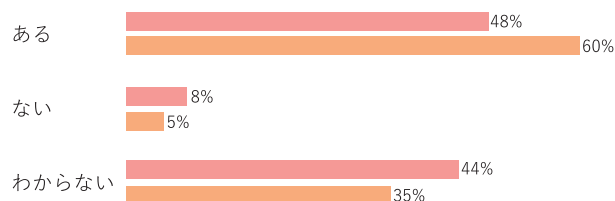
Q 1. あなたの住む地域における、地震や津波、洪水などの災害における被害想定について知っていますか？



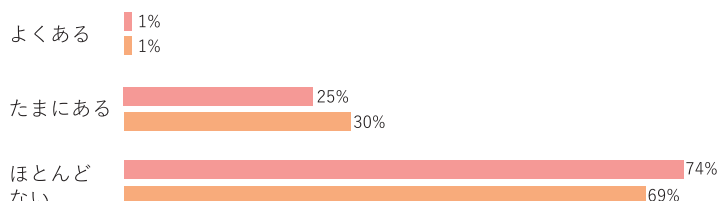
Q 2. あなたの住む地域における、地震や津波、洪水などの災害に応じた避難場所や避難所を知っていますか？



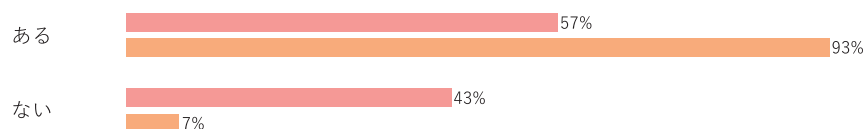
Q 3. あなたの家では、災害時のために、備蓄品（物資や食料）を準備してありますか？



Q 4. あなたは家族と、地震などの自然災害について話し合うことがありますか？



Q 5. 災害時、あなたができることはありますか？



#### アンケート対象

福地中1年生／106名  
福地南部小4年生／48名  
福地北部小6年生／48名  
計202名

地元における地震や津波、洪水などの災害に応じた被害想定や避難場所、避難所について知っているかに対して、近藤ひろ子防災教育アドバイザーや危機管理課職員による防災講話を受けて、「知っている」「ある程度知っている」と答えた児童・生徒の割合が増えました。学んだことを、他学年の児童・生徒や家族、地域へ広げていきたいです。

「備蓄品の準備をしている」と答えた児童・生徒の割合も増えました。本事業で学んだ「備えが大切」を実際に行動に移すことができたと考えられます。

災害について家族と話し合う割合は、ほとんど変化が見られませんでした。そのうえ、7割の家庭で「災害について話し合う機会がほとんどない」との回答でした。災害はいつ起こるかわかりません。在宅中に発災することもある

れます。各家庭で防災意識を高め、災害について話し合う機会を増やしていただきたいです。

最も変化が大きかったのが、「災害時にできることがある」と答えた児童・生徒の割合でした。事業後は、9割以上の児童・生徒が、「災害時にできることはある」と回答しており、その内容の多くは「人のためにできること」でした。具体的には防災講座で学んだ「けが人の搬送、応急手当」「コップ、スリッパ作り」、総合防災訓練で経験した「炊き出しの手伝い」などでした。様々な活動を通して、多くの児童・生徒が、自分事として災害と向き合うことができたと考えられます。そして、自分や家族の命、そして故郷を守るために、「自分にできること」を考えることができた。

## 防災事業のまとめ

本事業を通して学んだ「防災クッキング」「防災グッズ作成」「避難所の運営」「今後の生活に生かしたいこと」などについて、福地中1年生が各自でまとめの新聞を作成しました。そして、地域にこの学びを広げるために、モデル地域の町内会、自主防災会などに一部配布しました。

